

PRESTO™ A80t

20 l のリアクターの冷却 +20°C ~ -40°C

目的

このケーススタディは、20リットルのガラス製反応器を使用しPRESTO™ A80tの冷却テストします。PRESTO™ A80tは、1 mのメタルチューブを2本使用し反応器に接続しています。PRESTO™ A80tは、+20°Cから-40°Cに冷却するようにプログラムされています。

周囲環境

周囲温度	+20 °C
湿度	45 %
電源電圧	208 V / 60 Hz

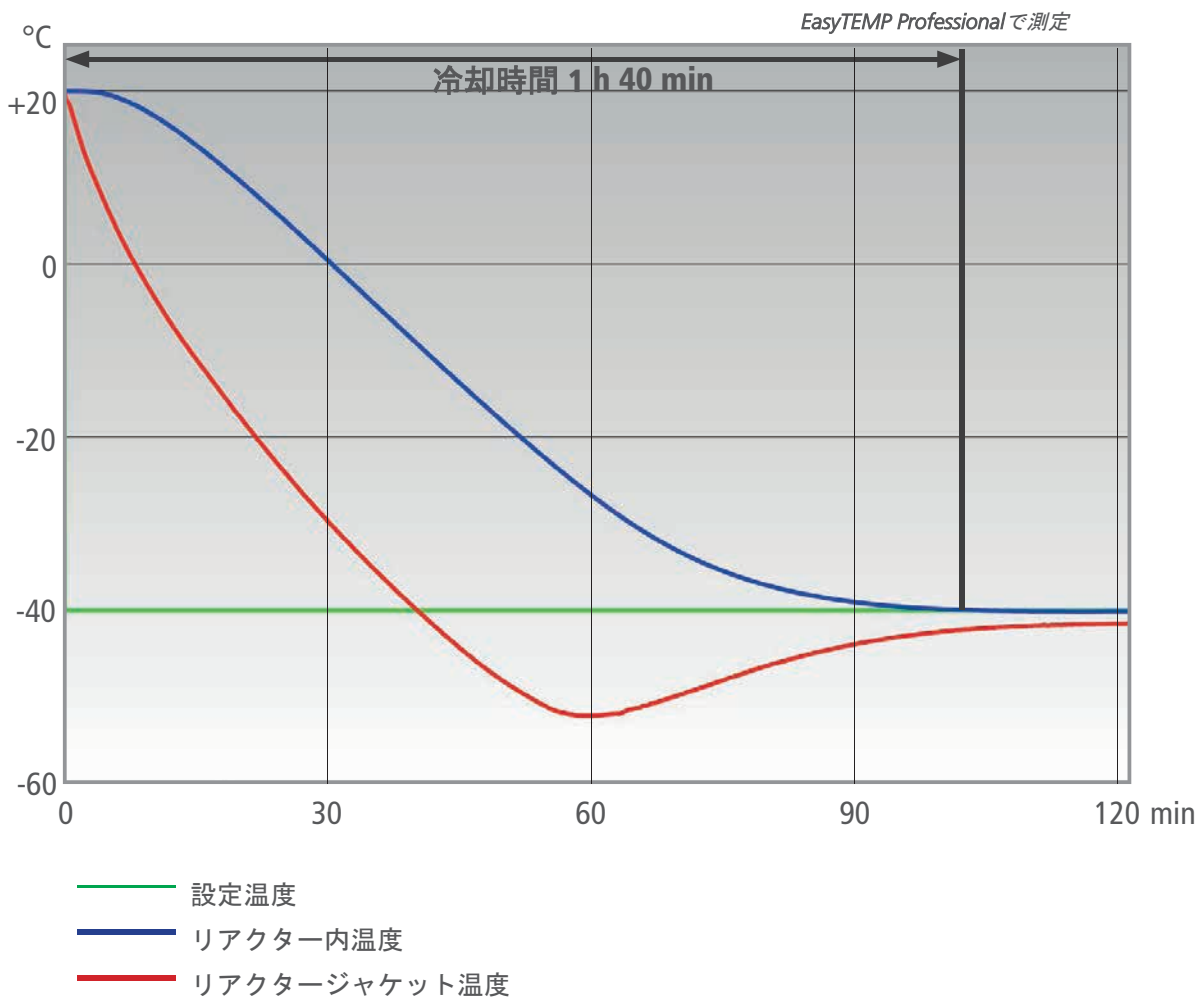
試験条件

JULABO装置	PRESTO™ A80t
冷却能力	+20 °C 1.2 kW 0 °C 1.2 kW +20 °C 1.1 kW
加熱能力	3.4 kW
帯域制限	with
流動圧力	0.5 bar
槽液	Thermal HL80
リアクター	20 l ガラスリアクター (Asahi) 充填量 19 l Thermal HL80
ジャケット容量	7 l
制御方法	External (ICC)



試験結果

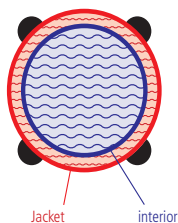
PRESTO™ A80t はオーバーシュートなしで+20℃から-40℃まで1時間40分で冷却しました。



Tip

あなたのリアクターを守ってください。機能“帯域制限”(上記参照)ジャケットと内部容器の温度差を最大値に設定できます。

Profile of reactor



Tip

無料のEasyTEMPソフトウェアを使用して、PCで装置を制御や、温度曲線をグラフ表示ができます。

EasyTEMP

